



越前坂井うららの極味膳「KIWAMIKEN」を 9/14(金) 9時から販売開始！

平成23年11月から提供を開始しました「うららの極味膳」事業に関しまして、皆様のご協力もあり、今年7月末での提供数がなんと累計で140,000膳を超える実績となりました。

今回、消費者の方への感謝の気持ちを込めまして、越前坂井うららの極味膳「KIWAMIKEN」事業を開催いたします。「KIWAMIKEN」とは、うららの極味膳参加店にてうららの極味膳を含む食事を注文した際にご利用いただけるお得な商品券です。

今回は消費者還元イベントということで500円の割引券3枚綴りを1セット1,000円で販売いたします。ただし、300セット限定（なくなり次第終了）ですのでお早めにご購入ください！

坂井市には、まだ皆さんの知らない美味しいお店がたくさん隠れています。この機会に是非“うららの極味膳”を食べてみてください。

○割引券販売所 坂井市商工会 本所

○販売開始日時 9月14日（火）9時販売開始

※1名様の購入上限を10セットとします。

※なくなり次第、終了させていただきます。

※残った分に関しては、会館の営業時間内に販売します。

○割引券有効期間 平成30年9月14日から平成30年12月14日まで



福井県商工貯蓄共済キャンペーンが始まりました！

8月27日（月）から12月21日（金）まで、「福井県商工貯蓄共済キャンペーン」を開催しています。

商工貯蓄共済とは、事業資金の有効活用を目的に、全国の商工会で取り組む共済制度です。「貯蓄」と「保障」が一体となっており、掛金の大部分が積み立てられ、いざという時の資金活用にもご利用いただけます。また、万が一の場合に備えた死亡保障も兼ね備えています。

ご加入いただける方は、商工会会員の皆様、そのご家族、従業員さんで、掛金は、月額1口2,000円からです。

キャンペーン期間中に新規ご加入いただいた方には、掛金10,000円ご加入ごとに5,000円相当の福井県内の特産品等をプレゼントします。さらに、併せて坂井市商工会より商品券のプレゼントもありますので、ぜひ、この機会にご加入ください！新規加入者のご紹介もお待ちしております！



日本酒で造ったリキュール3本セット
500ml×3本
【久保田酒造合資会社（坂井市）】



紅ずわい蟹甲羅盛り
200g入り×2個
【杏田商店（福井西）】



手仕込み 南越前焼豚 金銀セット
1セット（900g）
【上山精肉店（南越前町）】



『大丈夫だよ、がんばろう』 ～テレビでおなじみの早期発見でがんを克服！～

これからも元気に働く様に、そして家族の為にも早期検診の重要性をお伝えするための講演会を開催します。ご家族の方も是非ご参加下さい。

○法人会合同講演会

【講 師】タレント 山田邦子氏

【開催日】11月19日(月) 14:00~

【会 場】みくに未来ホール

【参加費】無料

*お申込みは10月号に同封するチラシをご覧ください。



9月号
2018.9

[第100号]
発行 坂井市商工会
本所 坂井市坂井町下新庄第2号10番地1
TEL 0776-66-3324 FAX 0776-67-7023
三国支所 坂井市三国町北本町3丁目2番12号
TEL 0776-82-5055 FAX 0776-81-7055
春江支所 坂井市春江町江留下相田35-1
TEL 0776-51-2211 FAX 0776-51-5596
丸岡支所 坂井市丸岡町一本田第5号76番地
TEL 0776-66-6555 FAX 0776-66-0300



アイしてさかい100号記念対談

地域発展のための商工会の今後の役割（前編）

アイしてさかい100号を記念して、地域経済研究の第一人者である福井県立大学地域経済研究所所長で同大学教授の南保勝氏と本会の半澤政丈会長に坂井市の地域発展と商工会の今後について対談していただきました。前編と後編に分けてお届けします。

南保教授 坂井市の特徴というと農業と工業が共存していく、なおかつ三国町が加わったことによって「観光」という要素もあり、一次、二次、三次産業の集積するところであるということ。産業と言う面で広がりがあり、商工会の役割の多様化が進まないといけない地域にあると言えますね。

半澤会長 坂井市は合併で生まれた市であるため、9万という人口を抱えながらも会議所ではなく、商工会地区として残った。多様なため、現状4つの支部が残っており、支部それぞれに活動しているところも大きいです。

南保教授 統合に伴う効率化という点では、色々問題を抱えていくのは間違いないでしょう。近いところでいうと、若狭町は美方と上中が合併したがそれぞの地域を重んじるがゆえに中々統合のメリットが受けられていない。ともすると、坂井市もそうなりかねない可能性はあるのですが、ただ違いは一次～三次産業までが根付いていて、可能性と言う面では多様化とともに広がりがあり、地域メリットを活かせるという点。その中で商工会が産業振興にどう力を発揮するかということは、多様性のある地域のモデルケースにもなるので非常に重要です。

半澤会長 私の同年代や少し下の年代を見てみても、仕事を広げていく上で東京に向けて出ていった人は成功例が多いように感じる

して、大企業のための地方創生ではなく地域のための地方創生ではなくてはいけないというような発言をされていたが、地方の企業が大企業に向けて発信できるような地方創生というのは、我々も必要だと感じている。今日日本の経済は好調といえるのだと思うが、東京なり大企業が活況を呈しているゆえの恩恵なのでしょう。

南保教授 その通りだと思います。戦後70年以上が経ったが、地方圏と言うのはかつての日本がアメリカを見て仕事をしていたように東京を見て仕事をしている。それゆえに、かつては東京と大阪という二眼レフ構造であったが、東京に色々な情報が集まり人が集まり、波状的に東京が経済的な恩恵を全て独占するようになり、東京一極集中と言う結果になった。東京でベンチャー企業を作る、あるいは企業家を養成していくとしてももう限界があるってこれからは地方の独自性、地方の足元に転がっている産業や地域資源を生かして東京でもウケる時代になってきた。今は中央集権国家では限界があるということに日本国民が気づいて、地方のオリジナリティを生かして地方そのものが成功して力をつけることで、日本全体が成長していくことにつながっていくという発想が徐々に地方圏でも出来てきたんだと思う。ようやく今、地方圏の時代というのが来たを感じています。

そういう意味でも、企業の経済活動を支える伴走型支援の中心である商工会がそれをどこまで伸ばせるかというのは重要なポイントで、これから役割は非常に大きい。これからはトップダウンではなくボトムアップの時代になってきているのは間違いないでしょう。

これまで商工会の職員は、中小企業の社長に指導するという立場にはなかったように感じるが、これからは商工会の力を発揮できる時代に来たという意識をもって更に上昇志向で、地域の企業をマネジメントし、先導していく。そういう職員の意識の醸成がものす



ごく大事である。本当の意味での伴走型支援の時代が来たのではないかなと思っています。

半澤会長) 私も商工会の会長をしていますが、商工会を利用する立場にもあります。これまででいうと先生のおっしゃるように、金融支援や税務支援などに重点があったのは事実だと思います。

南保教授) 企業のマネジメントをするというのが本当の意味での伴走型支援と言えるのではないかでしょうか。確かに、現在豊富なメニューがある補助金の申請支援等も大事ではあるが、そこで満足するのではなくもう一段上のステップでの支援として指導員が自信を持って企業を導いていくということが大事かなという気がします。

半澤会長) 本当におっしゃる通りで、そういうところは現状不足していて、逆に、我々も職員からのそういう提案が欲しいところではあります。企業とのパートナーシップというのが必須になってきますね。

南保教授) そうですね。だから職員の方はもっと自信を持って、経営のベーシックは押さえながら企業に応じたアドバイスをしていくことで、結果を残していくべき。「企業は商工会のお客さん」という意識がまだ抜けていないので、それでは地域は変わらないと思います。

半澤会長) 実は、坂井市商工会と言うのは会員加入率が県下で最も低い商工会で、50%少ししかない。他の商工会は低いところでも60%程なのでダントツで低い状況にあります。

南保教授) なぜそんなに低いのでしょうか。

半澤会長) その辺はやはり、坂井市の産業構造にも要因があると私は考えていて、特に工業系ですと県外資本の企業が多いというのもあるのかなと感じています。

南保教授) 確かに、それも一因とは考えられます。しかし、商工会の活動を地元の企業に意識してもらってメリットを感じてもらえるようアピールしていく必要はあるでしょうし、裾野まで浸透していないというのもあるのかも知れない。逆に、その辺はまだまだ伸び代があるということではないでしょうか。

半澤会長) やはり補助金申請支援だけに留まるのではなく、もっと他の要素も含めて伴走型支援をしていく必要があるんだろうなど私も感じています。

南保教授) 会長のおっしゃるように、岩手県なんかは工業振興で成功したところなんですが、その振興を支えたのは地元の商工支援機関です。一番最初にやりだしたのは、H.S.J(ホップ・ステップ・ジャンプ)事業ということで、まず補助金を申請するにしても周知されていないので普及啓発活動をする。次に、補助金の申請書も書けないので商工会が作成の指導をする。これがホップとステップということで、補助金の申請をした後ジャンプの段階で次の指導に進むということをやってきました。まさに、坂井市商工会も今はホップとステップの段階までは出来ていて、次のジャンプの段階でどう本領を發揮できるかです。その一方で、地元の企業に商工会を知ってもらうという啓発活動も大事であると思います。それによって商工会のすごさが分かるだろうし、内部としては職員の意識改革も進



めていくという内外の取り組みが必要になるでしょう。

それからさらに何をしたらいいかと言うと、これから世の中がどう変わっていくか見抜くこと。技術進化が進む中で、中小企業のあり方も変わってきて、人手不足も進む中ロボットの活用など改革を進め、人口減など社会の変化に併せた対応も商工会の役割となる。人口減と併せて、今後産業構造も変わってくることが予想されるので、それに合わせた坂井市の産業構造の作り変えのお手伝いというのも2つ目の重要な役割となってくるでしょう。人口減や事業承継の問題は間違いない目前に迫っているので、短期の課題と中長期～将来にわたる課題と分ける必要があります。

福井県は産業構造が変わりにくく、製造業中心、建設業中心で昔からの産業が未だ強い。しかし、これから先のことを考えるとそれでは通用しない。製造業も外発型を中心で発展してきたが、内発型が発展しないといけない。臨海部などにある大規模企業がひとつ抜けた場合、その穴を誰が埋めるのか、と考えたときにそれを埋めるだけのローカルインダストリーがないとダメで、それを作り上げて行くというのもひとつ商工会としての課題となってくるでしょう。

福井県は元々、福井県の商圈は福井で守ってきたが今はその垣根が崩されつつあり、どの産業を見ても大変になってくるのは間違いない。人口減やそれに伴う他県資本の流入という流れの中で、商工会がどれだけ地元の企業を守れるか、もう一段高いレベルの企業の育て上げられるかという中長期的なスパンで言うとそういういた役割があると言えます。

半澤会長) やはりこれからのキーワードというか、社会構造の変化から見ると高齢化社会を迎えるための産業、商業ということが重要となってくるということですね。

南保教授) キーワードは何かというと少子高齢化の中でどのような産業社会を作っていくかと言うこと。それに相応しいお店作りであったり、製造であったり、建設であったり、少子高齢化は避けは通れないものですから。その一方でハイテク化、ハイエンドの新しい文明を文化化して自社に取り込みながら高齢化社会に対峙していくかが企業にとって大事になってきます。短期的に言うと、事業承継であったり商圈の変化であったり多様な課題が沸いているので、それらに中小企業がどれだけ対峙して生き残っていかれるかをリードするのが商工会の重要な役割ですね。

<後編（来月号）に続く>

おしらせ

平成30年度 坂井市商工会 パソコン講座を開催します — Word2013中級 —

地図、切り取り線の入った申込書、案内など、日頃よく見かける物を自分でつくってみましょう。
(用紙や余白の設定、縦書きはがき、表の編集方法、地図入りの文書、切り取り線と申込書)

【日 時】 10月10日（水）・17日（水）・24日（水）・31日（水）

14：00～16：00

【場 所】 坂井市商工会 春江支所

2階IT支援室（←1階から2階に移転）

【受講料】 2,000円（テキスト代込）

【講 師】 笹原 達見氏【パソコンじゅく 丸岡教室】

【定 員】 10名（先着順）

【お申込み・お問合せ】 別紙チラシにてお申ください。

坂井市商工会【担当：猿橋（春江支所）】TEL：51-2211 FAX：51-5596



おしらせ

ビジネスメール詐欺に注意！ ～企業標的の詐欺メールが増殖～

ビジネスメール詐欺とは

取引先担当者、経営者層等になりますして、「従来の口座が不正取引に使用され、凍結されました。」等「従来の口座が使用されない」ことを理由としたメールを送り付け、振込先口座の変更を指示して同口座へ送金させる詐欺の手口です。

ビジネスメール詐欺における行為は、以下のとあります。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 取引先との請求書の偽造 | 2 経営者などへのなりすまし |
| 3 窃取メールアカウントの悪用 | 4 社外の権威ある第三者へのなりすまし |
| 5 詐欺の準備行為と思われる情報の搾取 | |

ビジネスメール詐欺被害防止対策

- 1 送金前の確認 ビジネスマール詐欺を想定し、送金前のチェック体制を強化しましょう。振込先の変更のよな場合、電話やFAXなどメール以外の方法で確認しましょう。
- 2 メール（アドレス）をよく確認 特に送金先の変更や緊急の送金に関するメールを受理した場合は、送信元メールアドレスや内容に不自然なところがないか、よく確認しましょう。
- 3 基本的なウイルス・不正アクセス対策 不審なメールの添付ファイルを開かないよう注意し、OSやセキュリティ対策ソフトを最新に保ち、パスワードには複雑なものを設定しましょう。

問い合わせ先 福井県警察本部 サイバー犯罪対策室 TEL：0776-22-2880 <http://www.pref.fukui.lg.jp/kenkei/>

坂井市商工会 後継者支援補助金 活用事例紹介

企 業 名：丸 見 屋 代表者名：水上 雅 喜

〒919-0522 坂井市坂井町上新庄46-28 TEL 0776-66-0283

＜事業概要＞ 昭和37年に創業し、JR丸岡駅前で営業を行っている酒・食料品小売店。創業当時より無料配達を実施しており、地域のイベント等への配達はじめ、近隣住民の買物商品の配達は、特に高齢者を中心として喜ばれています。代表者であった祖母の死去に伴い、事業を承継しました。

＜取組内容＞ 『新しい大型のショーケース冷蔵庫の導入による店内環境改善と商品拡充による顧客満足度の向上』既存設備よりも大型の設備を導入し冷蔵エリアを拡大することでまとめ仕入れによるコスト削減、商品の充実を図り、顧客満足度の向上と売上の増加につなげるとともに、イベント等配達繁忙期の受注機会損失の防止に取組みます。

また、新しい設備を導入することで店内の環境改善、美化につながるため、来店客により快適に買い物していただける売場作りを行っていきます。



坂井市商工会では、先代から事業を引き継いだ後継者の方の新しい取組みを応援する補助事業を行っております。この後継者支援補助金を活用した取組みについてご紹介します。

地域に根ざした事業所としての存在意義を高め、これまで以上に地域の生活に寄り添う事業所を目指します。